

「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興 10 年の歩み」パネル展の開催について  
テーマ：「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から間もなく13年を迎えます。山形県では、東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）実行委員会により、「東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）」を別添チラシのとおり実施します。

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構では、実行委員会構成員として、東日本大震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等を映像やパネルにより紹介します。また、被災地の被災前、被災直後、復興10年の状況について写真パネルにより紹介します。

※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

- 期間 令和6年3月8日（金）～令和6年3月14日（木）  
■時間 9:00～16:30（3月8日(水)は13:00から、3月14日(火)は13:00までになります。）  
■場所 山形県郷土館「文翔館」3F ギャラリー  
〒990-0047 山形県山形市旅籠町3-4-51 電話 023-635-5500

■内容

(1) パネル展

- ・教訓の伝承の取組
- ・近年の日本における災害発生の状況（協力：東北地方整備局）
- ・被災前・被災直後・復興10年の航空写真（陸前高田市、気仙沼市、いわき市等）  
（協力：(一社)東北地域づくり協会）

(2) 映像紹介

映像による東日本大震災発災後の建設業界の活動

- 主催等 東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）実行委員会  
パネル展主催：(一財) 3.11 伝承ロード推進機構（実行委員会構成員）

《発表記者会 山形県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門記者会》

問 合 せ 先

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

宮城県仙台市青葉区本町三丁目 2-26

事業部長 佐藤 勝也 TEL 022-393-4261

## 展示パネルの例

# 教訓が、いのちを救う。

備えることで救える“いのち”があることを知ってもらう！

学ぶことで助かる“いのち”があることを知ってもらう！

一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

## 3.11 伝承ロードとは

「3.11伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災被害地域のネットワークを構築して、防災に関する様々な取り組みを推進する。東日本大震災の被災地には、震災の発生や復旧を学ぶための施設や民間施設が数多くあり、その施設を「震災伝承ネットワーク」の拠り所として活用し、被災地と被災地とのネットワークを構築する。その施設やネットワークを活用して、防災に関する様々な取り組みを推進し、震災の教訓を後世に伝える。その結果として、災害に強い社会の形成と地域の持続的な発展が実現できると期待している。

一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

# 世界で起きる地震の2割は日本で発生。

日本の国土面積は世界の0.25%にも関わらず、世界で発生するマグニチュード6以上の地震の約2割が日本周辺で発生するなど自然災害リスクが高い。

世界のマグニチュード6以上の震源分布とプレート境界 (2010~2019)

世界の地震発生における日本の割合 (2010~2019)

地域	回数	割合
世界	1,496回	-
日本	262回	17.5%

世界 1,496回

日本 262回 (17.5%)

# 「くしの歯作戦」、決行。

一刻も早く。

命の道を切り開く、一刻を争う戦いへ。

「くしの歯作戦」とは、内陸部を南北に貫く東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」のように沿岸部に伸びる河本の国道を、救命・救護ルート確保に向けて切り開く作戦のこと。

想像を超える巨大津波は、太平洋沿岸の各地に壊滅的な被害をもたらし、がれきや橋の流出で沿岸部の各地を孤立させた。地震発生直後、国土交通省東北地方整備局の災害対策課には、幹部や職員が昼夜を問わず、道路関係事務所や出張所と連絡を取り、被害確認と対策立案を急いだ。そして、直ちに、命の道確保に向けてルートを開き「くしの歯作戦」を決行した。

第1ステップ  
内陸を結ぶ東北自動車道・国道4号の「救命ライン」を確保

第2ステップ  
東北自動車道・国道4号から沿岸部まで「救命ライン」を確保  
3月18日 > 11ルート確保  
3月18日 > 15ルート確保

第3ステップ  
3月18日、国道45号・6号の97%を確保  
沿岸部を結ぶ「救命ライン」が確保された

国土交通省 東北地方整備局

# 3.11 キャンドルナイト

「追悼・復興への祈り」

申込  
不要

2024.3.11月  
17:00~19:00

■会場:文翔館 議場ホール・前広場

3月11日は「県民防災デー(防災点検の日)」

★ セロハンにメッセージを  
★ 書いてみませんか

書いたものはガラスシェードに貼り付け、  
キャンドルナイトで使用します。

期間:3/8(金)~11(月)  
9:00~16:30

(8日は13:00から)

★ 場所:文翔館 3階ギャラリー2

制作協力:キャンドルリンクネットワーク

16:30 開場  
17:00~ 追悼・復興祈念セレモニー(議場ホール)  
黙とう  
復興へのメッセージ  
「追悼・復興への祈り」演奏  
(山形交響楽団 木管三重奏)  
17:40~ キャンドル点灯式(前広場)  
19:00 クロージング

★ 天候等により、内容を縮小または中止とする場合があります。詳しくは山形県ホームページをご覧ください。



# ギャラリー展示

◆期間：令和6年3月8日(金)～14(木)  
9:00～16:30

8日は13:00から  
11日は19:00まで  
14日は13:00まで



◆場所：文翔館 3階ギャラリー

## やまがた気仙沼会 震災と復興写真展

東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市の復興写真展を開催します。(※3月12日15:00まで)

## 3.11伝承ロード推進機構 パネル展

東日本大震災の実情と教訓等、被災地の被災前・被災直後・復興10年の状況をパネルにより紹介します。

## 避難者支援活動等展示コーナー

県内の避難者支援活動の紹介、復興へのメッセージボード、被災県の復興状況、日本赤十字社山形県支部の活動展示

## 「県民防災デー(防災点検の日)」関連展示

山形県では、3月11日を「県民防災デー(防災点検の日)」に制定しました。県民一人ひとりが自助・共助の仕組みを確認し、避難などの行動につなげられるよう、防災意識向上のためのパネル等を展示します。

# 会場

山形県郷土館 文翔館 (山形市旅籠町三丁目4-51)

\* JR山形駅から市役所経由路線バスで市役所前下車・徒歩1分

\* JR山形駅東口からベニちゃんバス乗車、市役所南口下車・徒歩5分。  
中心市街地エリア内での乗降は100円  
(小学生は大人運賃の半額・未就学児は無料)

# 関連企画展示

山形県立図書館(遊学館内)企画展示  
「3.11を忘れない」

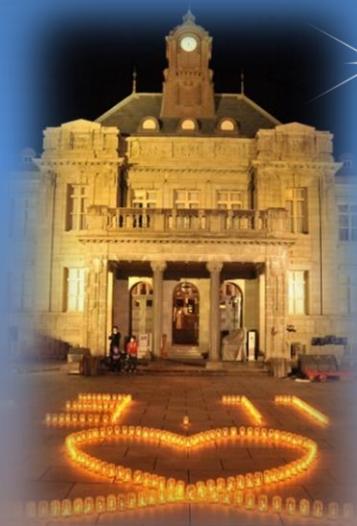
県立図書館が所蔵している東日本大震災関係図書等の展示のほか、「県民防災デー(防災点検の日)」関連展示を行います。

◆期間：令和6年3月2日(土)～3月31日(日)  
9:00～20:00

(第1.3.5月曜日及び第3日曜日は休館)



※展示期間については変更される場合があります。



## 東日本大震災追悼・復興祈念事業(山形会場)実行委員会 構成団体名

全国有機農法連絡会、つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた、ハチドリ一滴の会、認定特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド、特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク、特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミル、特定非営利活動法人Yamagata1、社会福祉法人山形県社会福祉協議会、社会福祉法人山形市社会福祉協議会、日本労働組合総連合会山形県連合会、公益社団法人山形県看護協会、山形県民主医療機関連合会、日本赤十字社山形県支部、やまがた気仙沼会、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構、山形市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、最上町、山形大学学生有志、東北文教大学ボランティア部、山形県